

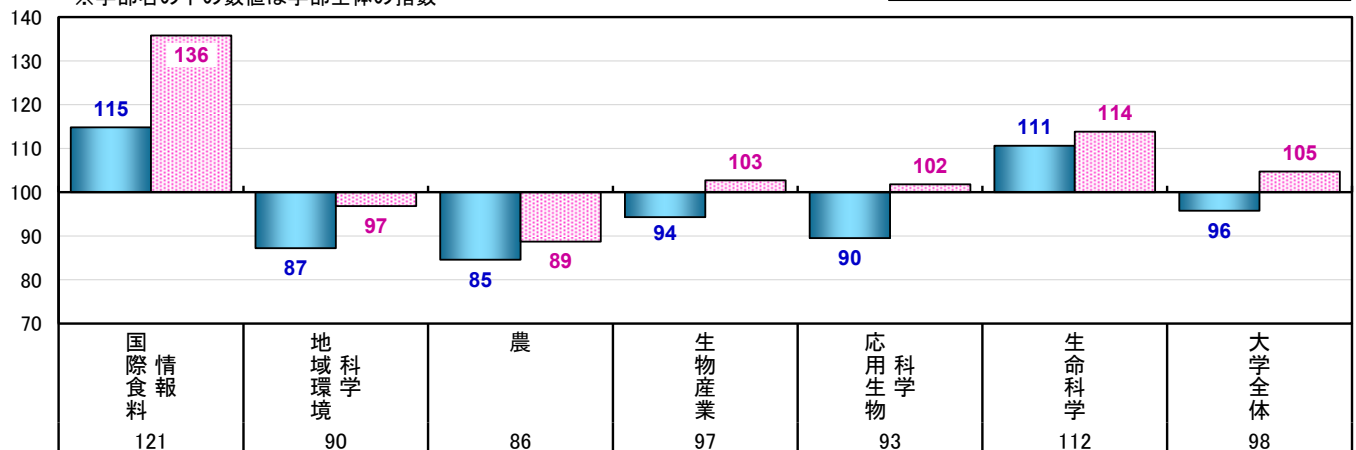
2020 年度入試状況分析【私立大】

東京農業大：大学全体では3年連続減少

一般：-884人 センター：+422人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 □センター利用方式



COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、462人(98)の微減だが3年連続減少。方式別では、センター利用方式(105)は3年ぶりに増加したが、一般方式(96)は3年連続減少。

<一般方式>

- 国際食糧情報(115)は、大幅増加で3年ぶりに増加。学科別では、(国際バイオビジネス)(90)は減少したが、他の3学科は大幅増加。特に(国際農業開発)(144)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 地域環境科学(87)は、2年ぶりに減少。4学科全てが減少し、特に(生産環境工)(63)は大幅減少。
- 農(85)は、大幅減少で2年連続減少。4学科全てが減少し、特に(動物科学)(78)、(デザイン農)(78)は大幅減少。
- 生物産業(94)は、やや減少で6年連続減少。学科別では、(北方圏農)(111)は増加だが、他の3学科は減少。
- 応用生物科学(90)は、2017年度の改組後、3年連続減少。学科別では、(農芸化学)(102)は微増だが、他の3学科は減少。特に(醸造科学)(78)は大幅減少。
- 生命科学(111)は、2017年度の学部開設後、初めて増加。3学科全てが増加し、特に(分子微生物)(135)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。

<センター利用方式>

- 国際食糧情報(136)は、大幅増加で2年連続増加。4学科全てが大幅増加し、特に(国際農業開発)(169)は前年度大幅減少の反動で激増。
- 地域環境科学(97)は、やや減少で2年ぶりに減少。学科別では、(造園科学)(140)は大幅増加、(生産環境工)(59)は大幅減少。
- 農(89)は、2年連続減少。4学科全てが減少し、特に(デザイン農)(81)は大幅減少。
- 生物産業(103)は、やや増加で2年ぶりに増加。学科別では、(北方圏農)(108)、(海洋水産)(108)が増加、(食香粧化学)(91)は減少。(自然資源経営)(100)は前年度と同数。
- 応用生物科学(102)は、2017年度の改組後、初めて増加。学科別では、(醸造科学)(83)は大幅減少で3年連続減少だが、他の3学科は増加。特に(農芸化学)(121)は大幅増加で4年ぶりに増加。
- 生命科学(114)は、2年ぶりに増加。学科別では、(分子生命化学)(92)のみ減少。(分子微生物)(150)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。